

いばらきネットモニター

「倫理的消費(エシカル消費)」の認知度及び意識調査に関するアンケート

1 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：令和元年6月5日(水)から令和元年6月17日(月)まで

調査方法：インターネット(アンケート専用フォームへの入力)による回答

いばらきネットモニター数：503名(県内モニターのみ)

回収率：49.7%(回収数250名)

回答者の属性：(百分率表示は小数点以下第二位を四捨五入しているため、個々の比率の合計は100%にならない場合がある)

		人数(人)	比率(%)
全体		250	100
性別	男性	131	52.4
	女性	119	47.6
地域	県北	29	11.6
	県央	98	39.2
	鹿行	15	6.0
	県南	82	32.8
	県西	26	10.4
年齢	16～19歳	0	0
	20～29歳	7	2.8
	30～39歳	40	16.0
	40～49歳	65	26.0
	50～59歳	65	26.0
	60～69歳	38	15.2
	70歳以上	35	14.0
職業	自営業	21	8.4
	会社員	82	32.8
	団体職員	6	2.4
	公務員	4	1.6
	主婦・主夫	62	24.8
	学生	2	0.8
	無職	49	19.6
	その他	24	9.6

(2) 調査目的

このアンケートは、県民の皆様の「倫理的消費(エシカル消費)」に関する認知度及び意識調査を実施することにより、「倫理的消費(エシカル消費)」の普及・啓発に向けた事業を行うにあたっての参考とするためのものです。

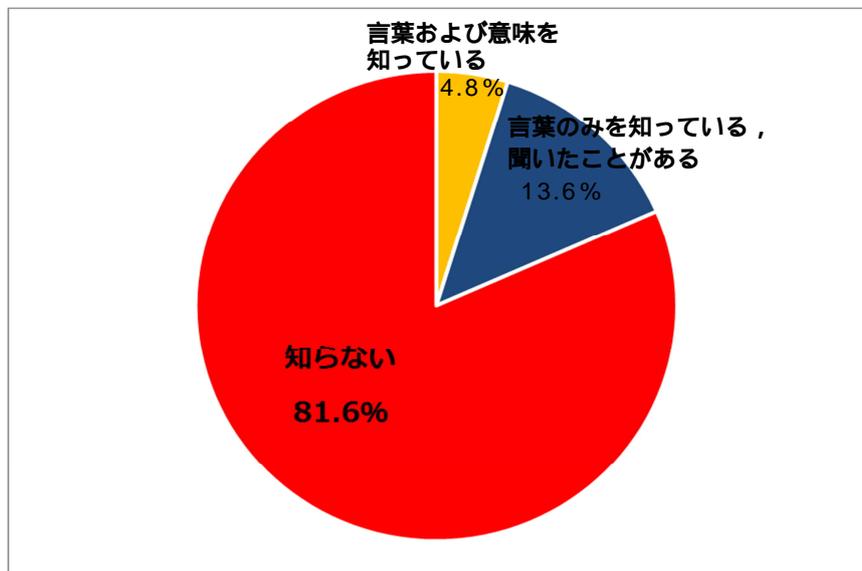
担当課：茨城県県民生活環境部生活文化課

電話：029-301-2829

E-mail:seibun3@pref.ibaraki.lg.jp

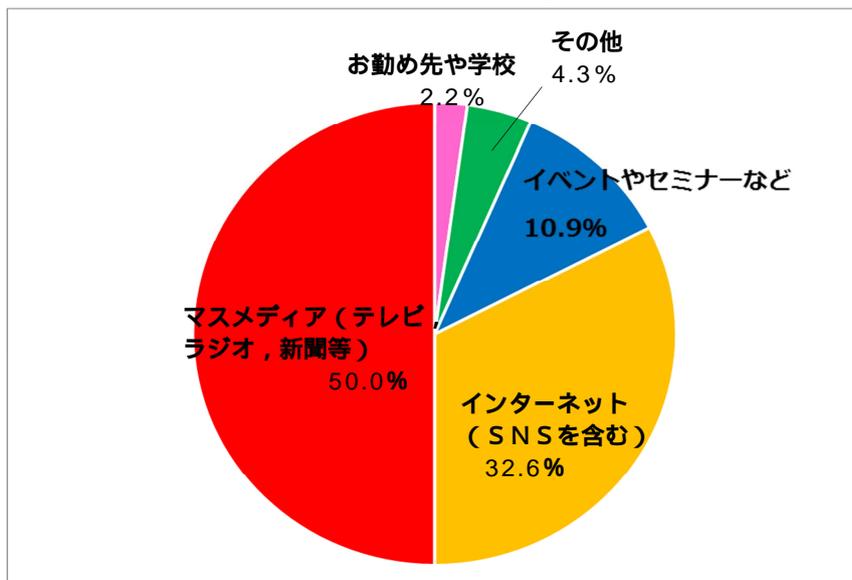
2 調査結果及び考察

【問1】あなたは、「倫理的消費（エシカル消費）」という言葉を知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。（「倫理的消費（エシカル消費）」とは、「地域の活性化や雇用なども含む、人や社会・環境に配慮した消費行動」を指します。）



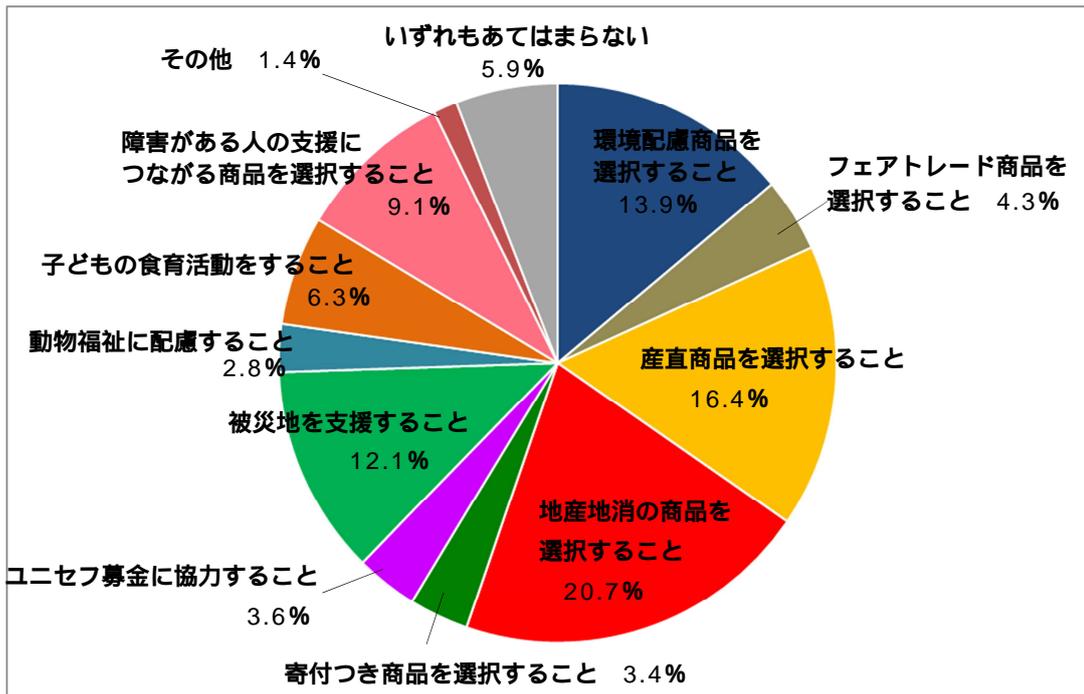
「知らない」とした回答した方は全体のおよそ8割（81.6%）を占め、「言葉のみを知っている，聞いたことがある」及び「知っている」と回答した方は全体の2割を（18.4%）下回り，認知度が低いと言える。

【問2】（問1で「知っている」又は「言葉のみを知っている，聞いたことがある」と回答された方にお伺いします。）「倫理的消費（エシカル消費）」を知ったきっかけは何ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。



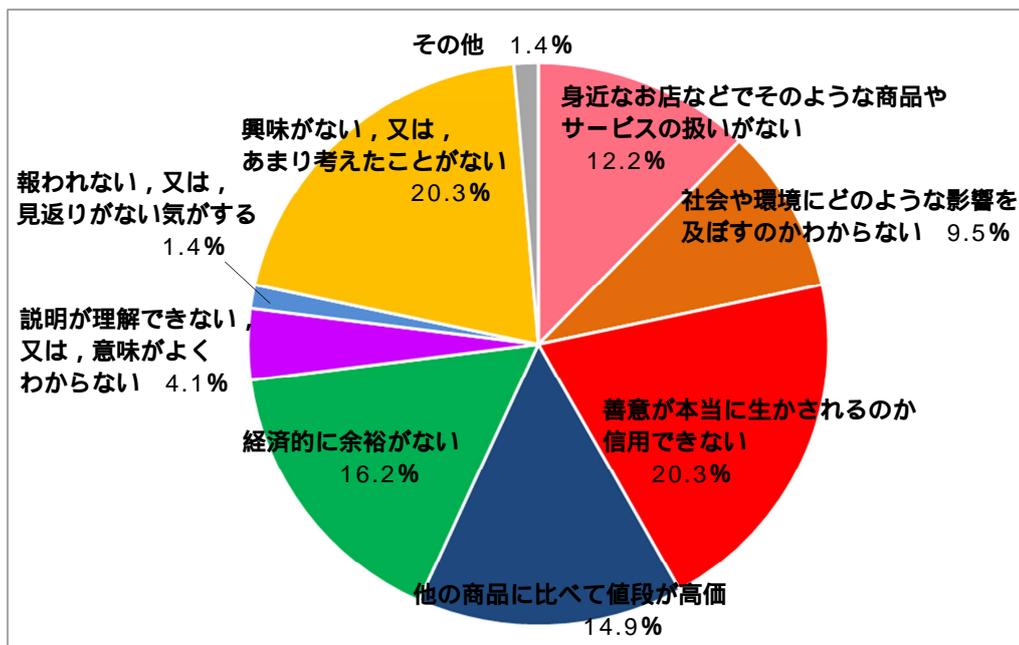
「マスメディア（テレビ，ラジオ，新聞等）」が 50.0%と全体の半数を占め，続いて，「インターネット(SNS を含む)」が 32.6%，「イベントやセミナー」が 10.9%と多い結果となった。

【問3】あなたは、普段の生活において、次に掲げるようなことを実践していますか？
 あてはまるものをすべて選んでください。



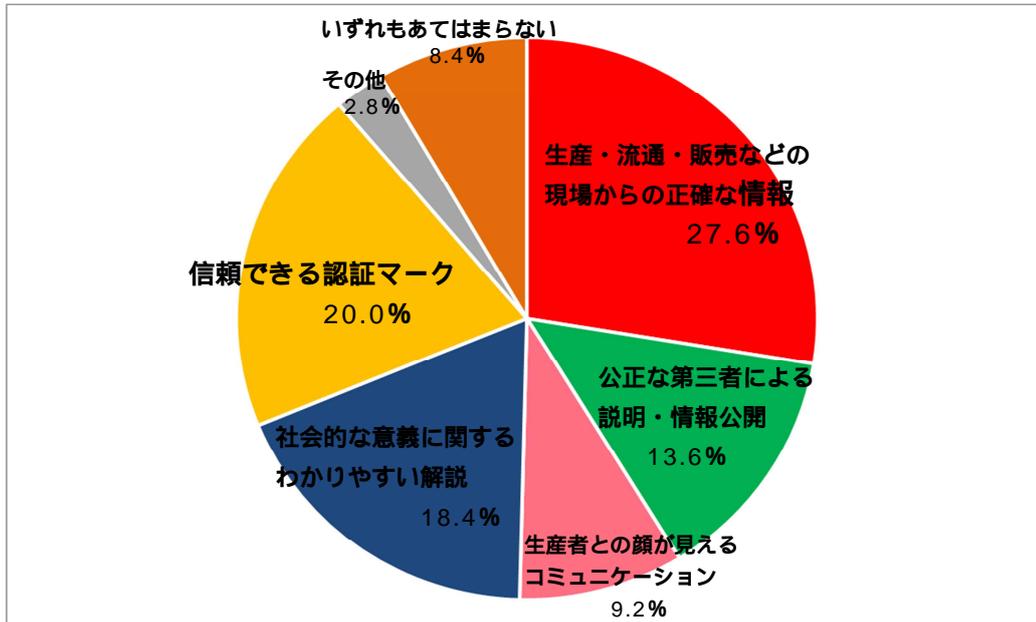
「地産地消の商品を選択すること」が20.7%と最も多く、続いて、「産直商品を選択すること」が16.4%、「環境配慮商品を選択すること」が13.9%と多い結果となり、日常の商品購入時にできることを実践している人が多いことがわかる。

【問4】（【問3】で「いずれもあてはまらない」と回答された方にお伺いします。）あなたが、倫理的消費（エシカル消費）を行わない理由について、次の中からあてはまるものを選んでください。（3つまで）



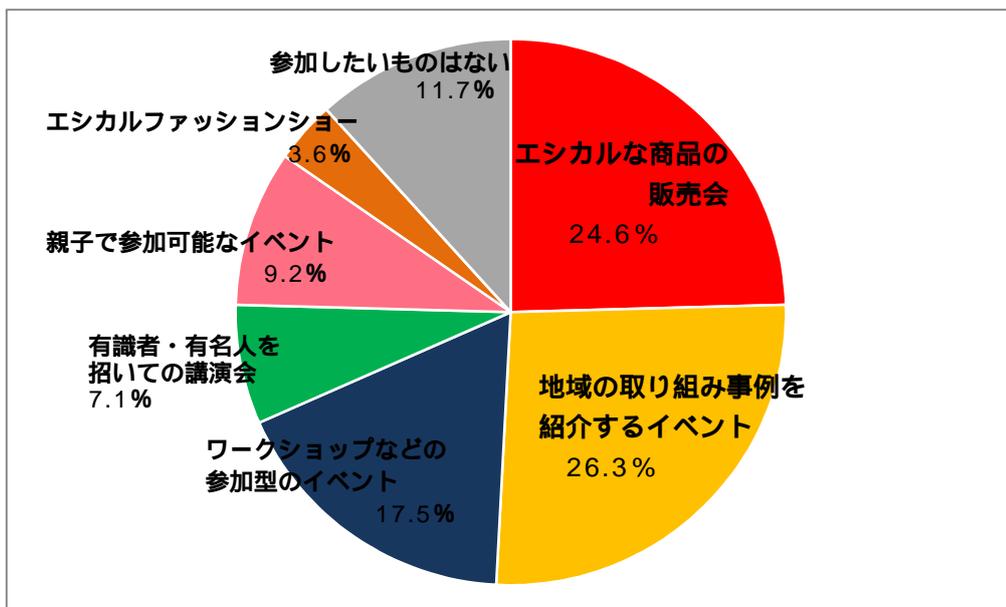
「善意が本当に生かされるのか信用できない」及び「興味がない、又は、あまり考えたことがない」が、ともに20.3%と多く、続いて、「経済的に余裕がない」が16.2%、「他の商品に比べて値段が高価」が14.9%と多い結果となった。

【問5】「倫理的消費（エシカル消費）」に関してどのような情報があれば、ご自身が社会や環境への影響を考慮した商品を購入すると思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。



「生産・流通・販売などの現場からの正確な情報」が27.6%と最も多く、続いて、「信頼できる認証マーク」が20.0%、「社会的な意義に関するわかりやすい解説」が18.4%と多かった。また、「その他」の回答として、「情報よりも、各家庭、学校での道徳教育を育む環境作り」などという意見もあった。

【問6】あなたが、今後、参加してみたい「倫理的消費（エシカル消費）」のイベントは何ですか。次の中からあてはまるものを選んでください。（3つまで）



「地域の取り組み事例を紹介するイベント」が26.3%と最も多く、続いて、「エシカルな商品の販売会」が24.6%、「ワークショップなどの参加型のイベント」が17.5%と多い結果となった。

【問7】その他、「倫理的消費（エシカル消費）」について、自由にご意見をお聞かせください。

意見数：84件

（「倫理的消費（エシカル消費）」の認知度及び広報について）

- ・倫理的消費の意味がよく分からない。広報誌などで見たり読んだりした記憶がない。
- ・倫理とかエシカルとか言葉に馴染みがなく、難しい。
- ・まだ一般的な用語ではないと思うので、啓発が必要だと思う。
- ・言葉は知らなかったが、誰にでもわかるデザインが提示されていれば認知されやすいと思う。
- ・言葉自体を知らない方が多いと思うので、みんなが知るような工夫が必要だと思う。
- ・認知度が低いと思うので、積極的にイベント等を開催すると良いと思う。
- ・言葉自体初めて聞いた。他の商品よりもっとアピールしてあれば、目に止まるし買ってみようと思う。

など

（期待すること）

- ・地域の活性化が誰にも形になってわかるような取り組みを期待している。
- ・信頼できる機関による認証制度が欲しい。そうすれば商品への信頼感が高まり購入意欲の向上が期待できる。
- ・茨城県にもホールフーズマーケットみたいなオーガニック製品が多いスーパーがあるといい。
- ・広く周知徹底されて、購入すると寄付することが出来る日用品等が普及すると良いと思う。
- ・寄付や遺産の相手先として選択肢があればいい。

など

（不安に思っていることなど）

- ・客観性に乏しいと感じる。本当によいことなのか疑問。その上、疑問を呈し難い雰囲気があり怖い。
- ・言葉だけが先行し、実態が掛け離れていることが多くあって、信用できない。
- ・地産地消の考えは賛同できる。だが、ユニセフ等の募金に関して使途不明に感じるため賛同しかねる。
- ・今、プラスチックゴミの問題が取り上げられているが、分別したゴミがリサイクルに回っているのか心配。

など

（その他）

- ・お金に余裕があればできるけど現実には厳しい。
- ・エシカル消費は大切だが、国内も貧困家庭が多く、我が家も経済事情が苦しく、安いものを買ってしまう。
- ・1次産業が盛んな茨城だと、消費者が簡単に意識できて行動できることだと思う。
- ・消費者庁のHPを覗いてみたが、結局よくわからない。（文言が多すぎる）
- ・個人の力は小さいけど、仲間が増えれば大きな成果になる。食は私たちの基本だから、真剣に取り組みたい。
- ・生協を利用だと自然にそういったものに関われるが、スーパーやチェーンの衣料店では関わりが少ない。